

広島市文化財団ベンチマークス(江波山気象館)令和2年実施結果

使命 (ミッションステートメント)		江波山気象館の役割	・広島市の科学館の一員としての気象専門博物館 ・子どもが安心してすごせる居場所づくり ・市民が社会貢献する場の提供 ・被爆に関する調査研究と平和学習の支援		
		基本方針	・親しまれる、楽しい博物館 ・気象情報の拠点となる博物館 ・広く社会と連携する博物館 ・歴史を伝える博物館 ・ホスピタリティあふれる博物館		
		事業の実施方針	・職員のスキルを活かした事業の実施 ・気象情報提供の強化 ・地域、学校、行政等との連携 ・ボランティアの育成 ・被爆・気象の歴史を後世に伝えるための事業の実施 ・気象を基に、様々な分野を取り上げた事業の実施 ・来館者サービスの徹底		
事業領域	領域目標	事業	事業目標	目指す成果(業績指標)	目標値→達成値
教育普及	気象をメインテーマに、自然・科学・歴史・文学・芸術など様々な視点から、人間と世界のつながりを示す	展示事業	楽しく、発見と新鮮さのある独自性の高い展示の提供	気象や科学に興味を持ち、利用者が楽しいと感じること	80%→88%
			気象台及び気象館の歴史を伝える資料の活用	所蔵する資料を活用して年間5回以上の事業を行うこと	100%→100%
		講座・教室事業	参加者の知的好奇心を高め、科学する心を育む	気象や科学に興味を持ち、楽しかったと感じた参加者の割合	80%→90%
		気象事業	よりわかりやすい気象情報の提供	HPで発信する気象情報を利用して、わかりやすいと感じた利用者の割合	80%→67%
調査研究	気象等に関する研究と学習の拠点となる	資料収集・保存管理事業	気象資料等の、適切な整理・保存・管理を行う	所蔵する気象資料等を年間10件以上整理すること	100%→100%
		調査研究事業	気象資料等を活用した調査や展示、学習プログラムの作成	気象に関する調査等の成果の公表・発表を年間15件以上実施すること	100%→86%
				展示や学習プログラム等の新規作成を年間5件以上行うこと	100%→80%
連携 学習支援	学校教育や地域活動等と連携して、事業内容や利用者の多様化を図る	学校教育や地域活動等との連携	ニーズの把握と利用形態に即した対応	次回も江波山気象館を利用したいと感じた教師等の割合	80%→98%
				出前授業等の後に面白かった、興味が高まったと答えた参加者の割合	100%→100%
			市民の学習活動の支援及び他の専門機関や、団体等との連携事業の実施	連携先の担当者が当館との連携が有意義であったと感じた割合	100%→100%
		学芸員実習・職場体験	博物館の理解を深め、将来の博物館等で活動できる人材の育成	実習等を通じて博物館への理解や関心が高まったと感じた実習生の割合	100%→100%
市民活動 支援・協働	ボランティア活動の場を提供するとともに、博物館活動の可能性を広げる	ボランティア養成・活用	ボランティア活動を通しての学習の機会・場の提供	事業にかかわってもらおうと依頼し達成できた実施率	100%→100%
				ボランティア活動を通して参加の目的が達成できた割合	80%→73%
				ボランティアからの自発的な要望(提案)により実現した割合	100%→100%
施設管理	ホスピタリティあふれる博物館	来館者サービスの向上	親しまれる博物館の実現	スタッフの対応について好感を持った利用者の割合	100%→79%
			利用者ニーズの把握と実現	ミュージアムショップについて、品揃え、価格帯について満足した人の割合	70%→30%
				施設の利用について不満を感じた利用者の割合	10%以下→0.3%
				利用者ニーズに対する実現割合	100%→100%